

P006

○菅原諒一・近藤則夫・秋野聖之

日本産 *Phialophora gregata* の遺伝子型を特定する rDNA 遺伝子間領域における DNA 多型

Sugahara, R., Kondo, N., and Akino, S.: DNA polymorphism in the intergenic spacer region of rDNA specifying genotypes of *Phialophora gregata* collected from Japan

Chen ら(2000)によってダイズ落葉病菌 *Phialophora gregata* f. sp. *sojae* の rDNA の Intergenic spacer (IGS)領域の一部をターゲットとしたプライマー組合せ BSRIGS1／BSRIGS2 が開発され、*P. gregata* f. sp. *sojae* は遺伝子型 A または B に、アズキ落葉病菌 *P. gregata* f. sp. *adzukicola* は遺伝子型 C に分類されることが示された．ところが、伊藤ら(2008)により *P. gregata* f. sp. *adzukicola* 集団は、遺伝子型 C に加え遺伝子型 A、B 及び D の 4 種類から構成されることが示された．本研究では、ダイズ落葉病菌を含む日本産 *P. gregata* 全遺伝子型の IGS 領域塩基配列を解析、比較した．日本産 *P. gregata* f. sp. *sojae* に認められた 2 つの遺伝子型 A 及び B の塩基配列は、米国産の対応するそれぞれの遺伝子型と一致したのに対し、*P. gregata* f. sp. *adzukicola* の遺伝子型 A 及び B にはそれぞれ 2 つのサブグループが認められ、*P. gregata* f. sp. *sojae* のそれぞれの遺伝子型との塩基配列類似度は 90%以下となった．一方、*P. gregata* f. sp. *adzukicola* 遺伝子型 C 及び D の集団内では、それぞれ 98%以上の塩基配列類似度を示した．

(北大院農)